

# 人文会 ニュース

書店の立場からみた常備寄託  
特約店制度の2年目を迎えて  
北陸地区特約店研究会報告  
新刊目録

'75. 12

10

戦前・戦後の激動期を誠実に生きぬいた不屈の思想家の創造的な努力を理解し、学ぶために……

# 古在由重著作集

■全6巻／完結・好評発売中

- 第一巻・現代哲学と唯物論 二二〇〇円
  - 第二巻・マルクス主義の思想と方法 二四〇〇円
  - 第三巻・批評の精神 二〇〇〇円
  - 第四巻・思想形成の記録Ⅰ 二五〇〇円
  - 第五巻・思想形成の記録Ⅱ 二八〇〇円
  - 第六巻・戦中日記 二四〇〇円
- 四六判上製貼函入・平均四二〇頁・内容見本呈

東京・文京2-23 勁草書房  
後楽2-1 振替・東京175253

## 《青木現代叢書》

小島健司著 春闘の歴史

堀尾輝久著 教育の自由と権利

スチャージェナー 三 菱

川合 章著 子どもの発達と教育

粟田賢三著 マルクス主義における自由と価値

中村静治著 技術論論争史上下

大沼・藤井 加藤 著 戦後日本科学者運動史上下

各 1200 各 1300 各 1200 各 1000 各 1200 各 1300

東京神田 青木書店 振替東京 36582  
神保町1

# 論集 将門研究

林 陸朗編

子価三五〇〇円

十世紀律令制国家崩壊期より中世初頭への社会・政治的激動期に大きな謎を秘めて位置する平将門の行動の歴史の意義を明らかにする代表的論文を網羅する。

## 将門記

【新撰日本古典文庫 2】

林 陸朗校注

三八〇〇円

綿密な本文校訂の上に詳細な注を付し、諸本校異と共に当時の「都の記録」多様な「将門説話」をも併録する。

## シニールレアリスム宣言集

A・ブルトン 森本和夫訳

一六〇〇円

今世紀の芸術と思想の生成に決定的な意味をもち続ける宣言の新訳。弁証法的な論理に貫かれた現代の古典。

東京・文京・小日向1-24 現代思潮社

## 紀伊國屋書店

エーリッヒ・フロム  
作田啓一 佐野哲郎 共訳

# 破 壊

人間の性  
上・下

フロムが一貫して追及してきた人間の破壊性のテーマに対する一つの到達点とも言うべき本書は、防衛的で反射的な「良性の攻撃」と人間に特有な破壊性、残酷性を伴う「悪性の攻撃」を峻別し、後者の様々な形態を理論面、実証面から多角的に考察している。(下は近刊)

■四六判／上一四〇〇円

東京新宿3-17-7 / 振替東京125575

## 書店の立場からみた常備寄託について

今回は常備寄託品について、書店の現場からの考えを聞かせていただきました。

紀伊國屋書店和書仕入部・本店仕入課長 河野 勝一

常備に対する出版社各位のお考えが、昨今変わってきたと云われております。

詰まるところは、残り物は、倉庫でねむらしておくより、小売店の棚に並べた方がトクとの考え方は、甘いし、実際には、折角常備に出しても、全部が全部、店頭に出てるわけではなし、汚されて返るだけだし、小売店も、さほど有難がってないのが、よく理解されてきたからでありましょう。

いずれにしても、常備品が、広い意味では、新刊書の残り物であるのは、事実でしょう。また、売れ残り品を、如何、消化していくか、そこにこそ企業としての生命線があるのは、どこも同じだと思います。

私共の様な比較的大きな店舗面積を抱えた小売店では、そうした「棚づめ商品」に於いて、如何、商品回転率を高めていくか、それが大切だし、だからこそ、自主制、主体制を主張したいとするところです。

今年の常備入替時に、Y出版社さんとの間に、こんな事がありました。

Y社のA氏は、全点常備を主張され、過去何年もそれできたのだし、新宿はそれでないと困るのだと申されました。私共の立場は、商品選択をさせて欲しい。でなければ常備は要らない。返品の手面倒をみて下さるなら、注文で揃えるから、との考え方です。

過去に於いては、タテマエは、全点常備でお預りしてたかも知れません。また、入替時には、確かに、商品は比較的良好に動きます。私共は係が時々移動しますから、細かな経緯は、時間をかけて調べないとはっきりしないのですが、ともかく、現状は、全点を店頭に並べるだけのスペースが、ないので。場所の狭さは、年々顕著になる勘定です。

常備品が新刊書の残りものである以上、新刊書に就いても、抱き合わせて、同時に考える必要を感じます。

御事情は、よく理解してるつもりですし、小売店に於いても、これからは、多売志向型の販売戦略は、改めるべきだと感じております。しかし、それにしても、出版社各位の小売店への姿勢は、昨今、とみに強くなってきているような感じが致しております。トータルでは、多売型商品に於いては、欲しいもの

が欲しい数だけは戴けない事です。配給のような感じです。また、事前注文制による配本も増えてきています。

お馴染みの新刊案内パンフが、私共仕入担当者の手に届けられます。書名をみます。出版社をみます。過去どの様な出版傾向であったか、売れ方をしたか、その実績を考えます。定価をみて、版型をみて、著者をみて、数行の説明文を読む。更に、店頭販売担当者の意見をききます。

一枚のパンフレットで、何冊売れるか、その部数を出せというのが、出版社各位の姿勢でしょうか。私は、時折ふと、出版社は、小売店を、小作人位にしか考えてくれてないのかな、との感じになる事があるのですが、立場を替えてお考え下されば御理解戴けると思うのです。

すべての事柄に就いて、どれ程の知識があるでしょうか。商売を基本として日々過してる者にとって、そこまで、そうした形の勉強と努力をする時間がありますでしょうか。書物を読んであとならまだしも、否、出来上った商品を手にしてならまだしも、数行の説明文を読むだけで、他人様が作られた書物のよしあしが、誠実に取組んで、本当に理解出来るでしょうか。

お客様は、その道の専門家です。だから同じパンフを読んだとしても、お客様なら、適確な判断をされるかと思えます。しかし、パンフを読むだけで、注文して、買取られるお客様が、どれ程みえるでしょうか。手に触れて、読んでみて、それではじめて、欲しくなる。それが人情かと思えます。

私共とて同様です。お客様がどの様な反応をされるか、それをみた後で、私共の判断と態度は固まるというものです。しかし、その時はもう、商品は品切なのです。

これからは、すべてが腹八分、七分で取組んで丁度なのだと考えております。新刊配本も、常備の押しこみも、是非、そうあって戴きたいと思えます。何かと御事情もおありでしょうが、月末に新刊配本が各社集中して、それは、結局は御損であると同様に、常備の入替期が、各社重なる現況の傾向に就いても、同様な御配慮をされるのが、御得な様に感じております。

水戸市川又書店・駅前店 菅井 正三

あわただしく入れ替り立ち替りはんらんする出版物の洪水の中で、地域住民の読書文化に少しでも寄与したいと念じている私どもにとって、常備図書が長期間寄託されている状況は、どれほどに心強いことか。各出版社の代表的良著が、専門書にしる教養書にしろずっしりと押しならんで、目録から抜け出たな

まの姿で顧客に提供されていることに、何ともいわれぬやすらぎを覚える。

「ここにあったぞ」と久癒の思いあふれる微笑から、意を決して財布を開くまでの顧客の表情の動きをべっ見すると、思わず情を同じくして胸底に熱いものが走るのである。また、それらの書物が私の旧知既読のものであれば、書物を買う人と書物を売る者とのあいだに、著者の言葉と思想を通じて形作られる文化共同体の実感が湧き上がろうというものである。和辻哲郎氏の名著『倫理学』には「文化は友人や文化財が見出される時間的場面である」と述べられている。書物を売る者のうれしさは、正しくここにある。

さて、大切なことは常備図書店内配置の方法である。「陳列は部門別に、探し易く、選びやすく」というのが鉄則であろうけれども、各部門をどれほどの精粗の度合いで刻み込むかは、各分野のおおの趣を異にする。文学作品は著者別でグルーピングすることも行なわれる。一部の出版社をくっきりと印象づけるために、版元コーナーを用意することも近ごろは見かける。しかしこの方式への過大な評価は危険で、極めて少数に限定することと、部門別の展列との関連に十分な顧慮を払うことに留意しないと、店内の混乱をひきおこす。もともと版元によるグルーピングは、内容分類の次の段階での配列原理だからである。

総じてこのごろのように変幻極まりなく、しかも超過密な棚の上で、乏しい労働力を用いて短時間にする仕事だから、一義的で端正な展列を維持することは至難であるが、さらに分類の本質的理解になると、労働力の質の問題にかかわってくる。外山滋比古氏が『日本語の感覚』で「本の名をいってすぐわかったという顔をする店員にぶつかると、お茶の一杯もごちそうしたくなる」と書き、「地方では絶望的である」と指摘しているのは痛い。

まことに、店員の教養の向上は重要であって、十分に手間ひまを要するものであろうけれども、常備図書などが一応は所を得た棚に納められ、全体的に秩序だってならべられていると、息のながい商品として歳月に堪えた背文字の表情は、生きた書誌然とした重厚さを感じさせる貫禄を帯びてくるものだから、おのずと店員に大きな啓発を与えずにはおかない。ひとり店員のみにとどまらず多くの顧客に好影響をもたらすことであろう。小なりといえども学問・思想の世界の一箇の鳥かん図、それが書店の地域社会における文化的意義でなければならぬ。私どもの商品の展列配置は、このことを十分にわきまえた上での作業でありたいと、心ひそかに念ずるのである。算盤には馴れない新参店員の感想である。

常備の入替作業は、日頃不十分な在庫点検の場になっている。当店の人文書売場は壁面が少なく平台に棚が3段しか付いていないことと合わせて余り商品を出せない。このため陳列できない分は棚裏ストックにしまっているし、30冊陳列できる棚に40~50冊ほど目算で割当てて約10日間ほどかかる回転でなんとか収まっているのが現状だ。陳列しないでおくことは契約上・信義上からも好ましくないが、当店においても流通していない在庫を抱えていることは全然プラスにならない。2冊常備が今でも多いし欠本を防ぐ意味でも良いのだが、注文品・新刊品の展示面積を圧迫しないためにも、最近はなるべく1冊常備を増やしている。この点でセット組みの常備は売れない本も混っていて迷惑だ。全部を入れると点数も膨らみがちだし、セットから外れた商品の品揃えにも無頓着になってしまう。また出版社一取次店一書店間で回転しているうちによく常備補充スリップが紛失してしまうが、欠本調査は出版社ごとの簡便なチェックリストが少ないため煩しさが先に立ってなかなかやれない。スリップの繕いは取次店と当店でやっているが貼り替えやすいようスリップの中央に必要な事項を集めてほしい。

制度の存廃は重要な問題だが、開店・増設時には常備品を出してもらい軌道に乗るに従い書店が徐々に自己商品を増やしていく漸減策はどうだろうか。

(以下私案)

- (1) 契約の更新にあたって各店に合ったリストを定める。
- (2) この際売上スリップの回収・集計、新刊案内や常備品チェックリストの送付・返事を約束する。
- (3) 期間を縮めて4~6ヶ月とし、原則として入替をやらない。
- (4) 切替時には送られてきたチェックリストで書店が欠本を調べ出版社はそれに基づき常備補充スリップをはさみ一括出荷する。
- (5) 新刊を常備に追加する時は、書店在庫の常備品で汚破損したり売行不良の本と交換する。交換分は一括返品し総額で追加分を越えないものとする。常備が小規模の場合は延勘注文で増やす。
- (6) 契約リストは交換・定価上昇があっても変えない。
- (7) 契約規模が目減りしていくに従い、出版社と書店が互いに信頼・協力して日常的な品揃えに努めていく。

人文会特約店から人文会常備についての要望を二、三提出いたします。

<常備寄託商品について>

特約店にとって、最大の興味は市場の寡占性と取引条件（主として正味の問題）であると考えます。この両方について現行の特約店制度はほとんど効力を発揮するには到っていません。その両方が得られない以上、特約店の最低の権利として、希望する商品を能う限り常備として出品してもらう。つまり全商品からの特約店の自主的な選択常備を最優先するという用意を人文会各社にさせていただきたいと考えます。販売指数を基準とするセットはあくまで参考資料であり、特約店にとって必ずしも効果的なものではないでしょう。常備出品の目的は一定の商品を展示して拡売をはかることであり、その意味からもセット常備で書店の棚を画一化することは望ましくないと考えます。業務上の都合から基本的なセットを組まざるを得ない場合には、追加常備という形の出品も考えていただきたいと思います。ともあれ事前に常備の案内を提示し、完全な選択常備を最優先できる体制を準備することを強く要望します。

<売上カードの回収と報奨について>

現行の売上カードによる報奨は、多分にカードの集計の手数料の性格が強くなり、売上報奨という意味が確然とされていないと考えます。そのあたりの姿勢を明確にいただき、内容のある報奨と、さらに売上カードの正確な集計表を定期的を送付していただくことを期待します。

<人文会会員社相互の連絡について>

人文会特約店は会員社と一社ごとに常備契約をしており、その範囲内での情報交換は旧前のごとくなされています。人文会独自の活躍といったものはまだその効果が充分とはいえません。特に人文会特選図書については特約店にとってほとんど意味を認められません。読者は「人文会」の本を求めるのではなく各様のテーマに必要なものを求めに書店へ足を運ぶのです。その意味からも人文会の提出するセットないし情報は、あるテーマなり著者に照点を合わせたもの（例えば柳田国男についての関係図書というふうに）の方が、現行の販売指数に基いた特選図書よりも意味があると考えます。そういう資料づくり、会員社相互の連絡と、書店への情報の提供を期待します。

を再認識する必要があります。

商品構成をするのはあくまで常備商品であるわけで新刊及び注文品等で肉付けしていくわけですからおのずと常備商品には神経をとがらせる必要があります。書店にとっては、某大学が近いとか他書店にはこの部門が少ないとか平面的なことしかわかりません。それで十分な所もありますが、他府県の動向、取次店の品揃え、商品自体の動きその商品の市場性等立体的な事も知らねばならないのが現実です。たとえば当店の例でいいますと、歴史書懇話会常設店があります。簡単な数字でお答えしますと、歴史書の部門棚に1,400冊ならんでいます。1ヶ月平均1,200冊売れますから約11回転するわけです。内常備商品は700冊です。私共としては常設店の威力が出てきたと喜んでおります。この事から考えますと常備商品を生かす工夫を他部門でもより厳密に選択しその特長を伸ばさねばならないのは自明の理だと思いますし、厳しい環境の下ではなおさらの事と思います。その為にも、たとえばなるべく部門別選択にして、より書店の立地、販売姿勢等を考慮し、商品選択が出来る様になれば良いと思いますし、単品選択になればよりよい結果を生み出すと考えます。

読者の方々は、非常に多目的になりましたから、その需要に応じられる様にするには、書店の面積を広げるか、部門を強化するか、専門店化するかを叫ばれて久しいのですが、遅まきながら再検討をしていきたいと思っています。その為にも、常備の中身を、版元、取次各位と一緒に考えさせてもらえば幸甚であります。

#### 水戸市・ツルヤブックセンター 高島 力

書店における常備寄託品は、書棚の占有率は7割から8割はあり依存するウエイトは非常に高い。1年間にわたって版元より貸してもらい補充分だけ支払うので資金運営面でも役立ちます。特約店は常備品を全点常時棚に陳列することが出来るので、立地条件や規模、顧客の要望に応じて、販売効率のよい出版社を選び常備品を豊富にそろえれば顧客が自由に選択できるので店の信用やイメージアップを図ることが出来る。しかし全集やシリーズものは棚のスペースの関係で、ある程度しか陳列出来ないのは残念ですが、当店の場合POPを利用し他の巻数は係員におたずね下さいと明示してわかりやすくしてます。専門書の新刊の場合一般書とくらべて売行きが遅いので返品の関係上、私製スリップを挿入して追加常備の型にして補充していますがこれを版元でスリップを作成して下されば、欠本も少なくなり、売上げ増につながると思います。

当店の場合補充の際は、必ず補充日付を捺印し、補充日数の把握や回転数の記録をとって来年度の申し込みの資料や必備図書作成の参考にしております。スリップ紛失やその他で欠本を生じるので常備品の欠本調査を行っておりますが版元においても可能な限り出張し欠本調査や業界情報等を教えていただければ売れすじの把握や仕入計画がたてやすくなる。人文会においてスリップの共同回収を行い統計や分析をしていただければ販売傾向や顧客の動向等を行うことが出来、仕入れや在庫管理においても大変役立てることが出来るのでありがたいと思います。この様なことは労力的、時間的に大変むずかしいでしょうがよろしく願いいたします。

専門書は分類がむずかしいので、できれば書籍コードをはっきりさせてもらい、たとえば工学書協会の様にスリップを色別にしてもらえれば陳列しやすくなる。これからも品揃いや販売になお一層努力をしたい。又地域社会の文化向上に少しでも多く貢献できる様頑張っていきます。今後もよろしく御指導お願いいたします。

大阪・旭屋本店 海 地 信

本誌6号に紹介された人文会特約店の「覚書」の事項が、人文会会員社で着々実行にうつされていることは、非常に喜ばしい。

常備寄託の功罪については、いろいろいわれており、デメリットもかなりあるにはあるが現在この制度が広く利用されているということは、版元、取次、書店の三者で、それなりにメリットを認めていることになるだろう。

しかし、この常備寄託の運用の実際の取決め段階では、本誌号の相田、堀野両氏の対談にもあるように、版元、書店の二者契約というのが、慣行になってしまっているようである。

にもかかわらず、この制度に本当に生命を与えるには、取次店の積極的な協力なしでは難しい。

いかに、人文会や工学書協会が努力しても、また書店が決められたところの義務を果たしたとしても、それだけではなおかつ充分とはいかないだろう。

☆ 常備寄託を受け入れた書店が特約店なら、その仲立ちをする取次店も、特約取次店でなくてはならないと思う。ただ補充カードに取次店の名が記されているから、その取次店を経由して、商品が流れるというだけでは、あまりにも淋しい。

特約取次店は、常備寄託の仲立ちをした版元の商品については、同時に店売

所の方にも常備してほしい。

いま、注文品は書店が注文してから、三週間前後、ものによっては一ヶ月というのが実態である。もし、取次店の店頭にあれば、書店は注文後一週間以内に入手することが可能になってくるだろう。

スピード・アップされることによって、書店の品切れが少くなれば、売り損じが少くなり、書店の、ひいては取次店の売上げにもなってくる。

最近大型店の出店があいつぎ、書店のスペースが大きく広がっているほどには、取次店の店売のスペースはそれにこたえていないように思う。

最近では、むしろ回転を重視する取次店の意向から、店売の商品のパラエティが乏しくなった。一部の本をのぞいて、殆どの本は互換性のない特殊な商品であるから、回転率が悪いということだけで、書店は簡単に店頭から商品はずすわけにいかない。

そうした書店の事情を察して頂いて、この業界の発展のために、取次店のよりよき理解と協力を心からお願いしたい。

#### 千葉多田屋書店 能 勢 仁

店に陳列されてある本の中で、常備寄託の占める割合は極めて高い。少い店で30%、多い店では60%~65%にも達する。特に新規開店の場合には大体常備の比率が高いと思われる。それは開業時の出版界の商習慣というのか、段取として常備出荷依存になるようである。開業のスタートの時点から常備と深い親戚づきあいをするのは余り好ましいこととは思わない。新規店の立地条件にどの常備寄託が適合するかは開業してみなければわからないからである。地域社会の社会状態、経済性、読者の購買傾向等がつかめてから積極的に常備選択すべきだと思う。もし常備を取次にまかせるとしたら、それは収穫を期待せずに他人に種を蒔いてもらっているのと同じである。

元来常備商品は書店の要請と出版社の期待が合致した時に流通されるものである。従って両者の見解がくいちがった状態で寄託契約が結ばれることは望ましいことではない。年々出版社、書店の常備メリットが検討され、最大公約数的な処置がとられるようになったことは望ましい。即ち冊数、時期、内容、条件、期間等の研究がなされ、出版社と書店の信頼関係が濃厚になってきたことは事実である。お互いに経済性の上に立って常備を考え、習慣的な送品を脱皮しつつあることは嬉ばしい。書店は読者との接点であり、最前戦であるが、良い武器弾薬を送りこむのは出版社、取次であるから、商品を戦略的に考えなけ

れば商戦には勝てない。出版社が商品回転を二回転以上希望するのは書店とて同じである。ややもすると書店が本の展示館、陳列館になりがちなのは動かない常備が多いとこの傾向になり易く、書店の老化現象を招く。店に不似合いな常備はコレステロール以外の何物でもない。我々が魅力のある品揃えをするためには雑誌、新刊書籍、常備商品の三本柱が必要である。ここで申し上げる常備品は通常の出版社常備寄託品と、その店独自の常設商品の両方を指している。出版社常備は、私は商品価値の安定した各社のロングセラー的性格の商品であることを願っています。数多くの商品群の中でどの書店にも向くものは数少ないと思う。従って選択常備は必須の条件である。最近書店の売れ行き傾向が少品種多量販売になりつつあるが、専門書を扱う書店である以上、これはつつまねばならぬと思う。読者指向を追求すれば、多品種に商品を揃え、少量販売にも耐えることがやがて読者の期待にこたえられる書店の道づくりだと内心考えるからである。

書店の売上げが増加するためには、書籍中心の売上げ比率でなければならぬ。又書店の売上げを安定させるためには雑誌の売上げ比率を高めねばならない。どちらも正論であり、どの書店でも経験していることである。前者は客単価主義であり後者は客数主義である。商人がいつも経営の中で考える一つの販売戦術であって高単価少量販売でゆくか、低単価多量販売でゆくかである。効率主義対回転主義でもある。理想的には高単価商品を大量販売することであるが、そんなにうまく商売は余りこがっていない。扱い商品を決める時の尺度に交叉比率がある。つまり商品回転と荒利益率の積が大きい程利益率が高く、取り扱いが有利だということになる。然し普通には商品回転の良いものは荒利が薄く、反対に荒利の厚い商品は回転がよくないものである。

人文会の常備商品について考えてみた時、残念ながら交叉比率は低い方に属する。何故ならば、指定商品乃至は買廻り商品だからである。季節性や地域性を商品に求めることは無理である。一方出版流通機構上でみるならば、常備商品は出版界の定期便でもある。本来経済原則からすれば、定期性はプラス要因になるべきものである。商品管理のし易さを筆頭に、なじみ易さ、慣れ、ライフサイクルの長さ等を考え商品の性格把握に完全主義を期待することは無理ではない。然し現実問題は逆である。常備の定期性の悪い点だけが發揮されているのではないか。つまり常備申込イコオル常備契約=送品、配架、陳列と、意識の外でことがこぼれ、商品の需給関係に必要な価値が附加されていない。契約関係が形骸化していると思う。

前記したように交叉比率を重視して、書店では商品選択に重点を置き、出版社では出荷基準を確立すべきだと思います。売上カード返送の義務化、新刊案内の返事の完全化、各種調査の協力要請、新刊商品の常備カードの挿入陳列実施等、出版社、書店間で行うべき事項があるはずで、これらの手続きが特約店指向の道だと思います。恩恵主義の商売より、ペナルティ型の商売の方が伸びる場合があります。販売意識がことなるからだだと思います。常備契約に厳粛な意味をもたせたいと思います。売れない本はお互いに置かない、然し売るための努力は決して惜しまない。そして売れる本は徹底的に売る主義を常備寄託に期待したいわけです。

方法論的には常備入替え時に、常備出荷商品一覧表を二部書店に送付し、書店は返品の際、返品伝票と共に一覧表に返品明細を記録し同送する。尚この時、常備スリップを全点抜きとり書店は商品一覧表に、後日おそくとも2週間以内に全商品の回転調査を実施する。ここで始めて年一回ではあるが、単品調査が行われ、いかに売れないか、売れているのが驚く材料になるはずである。自己反省の資料は出版社に送付し以後の販売データとして活用したいものである。

## 特約店制度の二年目を迎えて

### 人文会特約店委員会

人文会特約店制度は発足以来満1年を経過致しました。人文会加盟の出版社はこの制度を有効に活用すべく、「覚書」の精神の通りに逐次施策をほどこしてまいりました。

しかしながら、昨年来の不況はすさまじく人文会特約店の皆様のご努力がありながら、思ったほどの成果をあげられなかったことは誠に残念に存じます。しかし不況はいつまでも続くはずはございません。今迄の努力がいずれ実を結ぶことを期待して、今後も特約店制度を強化してまいりたいと存じます。

本年度は従来の選定条件によって下記の27店を特約店としてご推選申し上げますので、宜しくご協力のほどをお願い申し上げます。

#### 記

千代田区	信 山 社	高 槻 市	コーベックス
〃	旭屋書店水道橋店	京 都 市	京都寝々堂丸物店
品 川 区	芳 林 堂	和歌山市	宇 治 書 店
渋谷区	旭屋書店渋谷店	松 江 市	園山書店大学前店
杉並区	明大生協和泉店	岡 山 市	弘栄堂岡山店
豊島区	西武ブックセンター	広 島 市	紀伊國屋書店
町田市	有隣堂町田店	熊 本 市	紀伊國屋書店
府中市	啓 文 堂	福 井 市	ひまわり書店
土浦市	共 栄 堂	新 潟 市	紀伊國屋書店
水戸市	川又書店駅前店	〃	北 光 社
前橋市	アルプス社	郡 山 市	東 北 書 店
名古屋市	三省堂名古屋店	札 幌 市	富 貴 堂
〃	竹中中日タウン店	旭 川 市	三省堂旭川店
〃	杖中三洋堂東店		

なお、今回の選定にもれた書店の中に12社以上との常備契約はありながら、冊数の不足で条件に満たないケースが多くみられました。もう少し人文図書を展示して頂ければ、次回にはご推選申し上げますので、ご再考をお願い申し上げます。

## 北陸地区人文会特約店研究会報告

販売委員会

人文会特約店研究会を、本年は北陸四県を下記の日程で訪問並びに研究会を催すことが出来ました。

<目的> 10月5日(日)~10月8日(水)

<訪問店並びに研究会 参加特約店> 新潟市、文信堂、萬松堂、北光社、紀伊國屋書店、富山市、清明堂、瀬川書店、高岡市、文苑堂、金沢市、うつのみや書店、北国書林、福音館、金沢大学生協、福井市、ひまわり書店、

<特別見学> 富山市立図書館

<同行販売会社> 日販・下條仕入部長・東販・関根書籍部次長

<参加会員社> 18社(筑摩書房・吉川弘文館欠席)

<研究会テーマ> (1)人文会特約店としての書店、版元双方のメリットは、(2)売上カードの利用度と分析、(3)人文会ニュース、人文会四季報、人文図書総目録について、

研究会において、提案されたご意見を列記しますと。

<常備品とは>

- ・年6回転以上のものは、常備出荷時に2冊を望む、補充日数の遅滞による欠本防止のため、
- ・新刊書については、常備カードを送って欲しい、常備期限まで展示、補充に廻し、返品期限に併せて返すことを認められぬか。
- ・人文会特約店の基準になる、12社以上、1000冊以上の常備品は、棚スペースの関係で若干問題がある。
- ・常備出荷後四ヶ月ぐらいに、出品一覧表を送って欲しい。欠本調査に役だたせたい。

<売上カード>

- ・カード整理に時間がかかる。カードの統一化がはかれないか。
- ・常備カードの両面に書名を印刷が出来ぬか。日付印を押しながら、売行書のチェックが一目でわかる。
- ・常備返品時にカードをぬきとり、現品と別に返せぬか。次回更新書目の選定資料に生かしたい。

<その他>

- ・人文図書の分類の幅が広いので、売上スリッパに分類標示を印刷してほし

い。

・最近値上りがはげしい。売上げはどうなっているのだろうか。定価の値上げにささえられているのではないだろうか(?)

等々のご意見、ご教示を賜りました。すでに実施している会員社、又は会として統一化をはかるべき点を十分に検討を重ねてまいりたいと存じます。

最後に、特別見学の富山市立図書館についての印象を述べさせていただきます、今後の研修会報告にさせていただきます。

休館日にもかかわらず、辻沢館長みずから館内の説明、すばらしい壁画をめぐらした広間で、銘菓の饗応をうけながらの懇談、市内数店の案内等の歓待に預かる。東京、北海道に次ぐ、全国第3位の図書館普及度を誇る富山県を代表する図書館ということで期待していったが、1,675万円(50年度予算)の図書館購入費の割に開架式図書館が約25,000冊しかなく、専門書は県立図書館にまかせて、ほとんど購入しない方針ということに若干失望させられた。大学、短大への進学率が40%近くに及んでいるわが国の公共図書館としては、児童、主婦を対象とする図書館で貸出冊数の伸張をはかるばかりでなく、仮に利用度は少なくとも、専門書を完備することによって、もっと幅広い利用者の吸引をはかるべきではなからうか。

以上

# 人文会会員名簿

(113-91 東京都文京区 本郷局私書函89号)

50.11.30 現在

	社名	担当者	〒番号	所在地	電話
	青木書店	山根 襄	101	千代田区神田神保町1-60	292-0481
	紀伊國屋書店	八木 茂	102	千代田区五番町12 ドミール5番町	263-9006
	勁草書房	石橋 雄二	112	文京区後楽2-23-15	815-5237
	現代思潮社	田浪 政博	112	文京区小日向1-24-8	943-4403
幹事	社会思想社	鎌塚 正	113	文京区本郷1-25-21	813-8101
	春秋社	根津 栄二	162	新宿区細工町14	267-2021
	晶文社	中村 勝哉	101	千代田区外神田2-1-12	255-4502
	誠信書房	宍戸 玄德	112	文京区大塚3-20-6	941-5666
	筑摩書房	米原 秀雄	101	千代田区小川町2-8	291-7651
	東京創元社	清水 純孝	162	新宿区新小川町1-16	268-8231
代表幹事	東京大学出版会	中平千三郎	113	文京区本郷7-3-1	812-2111 内6488
幹事 (会計)	日本評論社	岩田 新造	160	新宿区須賀町14	341-6161
幹事	福村出版	福村 惇一	113	文京区本郷4-23-9	811-0660
	平凡社	今給黎元郎	102	千代田区四番町4-1	265-0451
幹事 (書記)	法政大学出版局	阿部 好文	106	港区南麻布2-8-4	453-0717
幹事	みすず書房	相田 良雄	113	文京区本郷5-32-21	814-0131
	未来社	石井奈良彦	112	文京区小石川3-7-2	814-5521
	有斐閣	前田 昌男	101	千代田区神田神保町2-17	265-6811
	吉川弘文館	川越 重行	113	文京区本郷7-2-8	813-9151
幹事	理想社	石井 嗣基	162	新宿区赤城下町46	268-1306

特約店委員会 ◎相田, 山根, 今給黎, 前田  
 販売委員会 ◎鎌塚, 田浪, 中村, 米原, 川越  
 弘報委員会 ◎石井, 八木, 根津, 石井(奈)  
 四季報委員会 ◎福村, 石橋, 宍戸, 清水  
 ◎印は委員長

# 新刊図書目録

自 昭和 50 年 9 月 1 日  
至 昭和 50 年 11 月 30 日

## 哲 学 ・ 思 想

青木現代叢書

### マルクス主義における自由と価値

粟田賢三著  
人間の自由と権利、人間と価値の問題を科学的に考察し現代知識人の思想的課題を究明する。  
四六判 256頁 円1,300 (青木書店)

双書 現代の精神的労働 3

### 教育労働の理論

芝田進午著  
精神的労働としての教育労働の実態を包括的、創造的に探究したマルクス主義労働社会学の成果。  
四六判 280頁 円1,300 (青木書店)

青木現代叢書

### 社会主義と自由

藤井一行著  
社会主義社会における自由の問題を考察し、マルクス主義と自由についての課題にアプローチする。  
四六判 260頁 円1,300 (青木書店)

### イロニーの精神

V.ジャンケレヴィッチ著  
久米 博訳  
危険とたわむれ、まじめに《遊ぶ》イロニーの精神の真髄を解き明かした、優れた哲学的エッセー。  
四六判 248頁 円1,500 (紀伊國屋書店)

### 人間への選択

ルネ・デュボス著  
長野 敬・中村美子訳  
生物学者ルネ・デュボスによれば、人間であることはまずなによりも選択して行動することである。  
四六判 232頁 円1,000 (紀伊國屋書店)

マルクス主義革命論史 3 巻

### 第3 インターとヨーロッパ革命

中村丈夫編  
ロシア革命を経た戦後ヨーロッパ革命と統一戦線戦術を中心に、運動の分岐点を総括した力篇。  
A 5判 536頁 円4,000 (紀伊國屋書店)

### 老化の生物学

マクファーレン・バーネット著  
梅田敏郎訳  
老化の機構を免疫学的側面から考察する。老人病としてのガンなどにも言及して優れた人間論。  
四六判 132頁 円700 (紀伊國屋書店)

### 認識と信念

J・ヒンティッカ著  
永井・内田訳  
現代論理学の本質を理解し、論理学と哲学の交流を真に有効なものとするための好著である。  
A 5判 224頁 円2,000 (紀伊國屋書店)

古在由重著作集 第5巻

### 思想形成の記録 II

古在由重著  
大正12年1月～13年3月末にかけての東大哲学科に学ぶ日々の記録。「唯物論者になるまで」を収む。  
四六判 468頁 円2,800 (勁草書房)

武谷三男現代論集 6 巻

### 市民と政治

武谷三男著  
原水爆、原発、公害等に対し人権の立場に立って闘って来た著者が市民生活に山積する諸問題を追究。  
四六判 360頁 円1,600 (勁草書房)

### 戦後精神の探求 一告白の書一

梯 明秀著  
敗戦後の混乱の中で個的一時代的虚脱の根拠とその超克の方途を求めて綴られた苦悶の記録。  
四六判 550頁 円2,000 (勁草書房)

### プラトン著作集 3 法律(下)

式部 久訳  
理想国家の政治と法制を総合的、具体的に構想したプラトン最晩年の大作法律の決定版訳。  
A 5判 402頁 円3,200 (勁草書房)

### 日本政治思想史概論

松本三之介著  
江戸時代から明治初期・自由民権運動に至る間の主要な思想家を対象として政治思想の流れを要説。  
A 5判 208頁 円1,800 (勁草書房)

中村元選集 18巻

### 普遍思想(上)

中村 元著  
普遍的宗教が説く人生の目的や、普遍的国家の理念の確立などを中心に、普遍的思惟の特色を解明。  
四六判 472頁 円2,500 (春秋社)

### 空間と政治

アンリ・ルフェーヴル著  
今井成美訳  
現代社会における空間の政治的な意味を考察する。「都市革命」につく示唆にみちた注目の論文集。  
四六判 180頁 円1,200 (晶文社)

## 知の考古学 Vol. 5

小特集／露伴の世界、論文／大岡昇平、川村二郎、玉城哲、丸山博、上山安敏、良知力ほか。  
A 5判 138頁 440 (社会思想社)

第11～12巻

**社会問題研究 <復刻版>** 河上 肇著  
河上肇の思想の発展過程が集約的に現われているといわれる、個人雑誌106冊の完全復刻版。  
菊5判 平均422頁 各4,800 (社会思想社)

近代日本思想大系5巻

**三宅雪嶺集** 本山幸彦編  
明治、大正、昭和の三代を通し、旺盛な活躍をつづけ日本思想界に巨大な足跡を残している。  
四六判 424頁 1,800 (筑摩書房)

近代日本思想大系13巻

**幸徳秋水集** 飛鳥井雅道編  
志士仁人としての風格をもつ生き方と相まって、近代日本の思想史に輝かしい地位を占めている。  
四六判 420頁 1,800 (筑摩書房)

近代日本思想大系22巻

**折口信夫集** 広末 保編  
すべての分野を通して、日本人の生活の根を追究しつづけた業績から、受け継ぐべき遺産は大きい。  
四六判 424頁 1,800 (筑摩書房)

## あこがれの原初

岡部伊都子著  
「人それぞれの自己に徹した生き方」をめざして語る、真情溢れるエッセイ集。  
四六判 244頁 980 (筑摩書房)

## 経済発展の生態学

R・ウィルキンソン著 斎藤 修他訳  
経済発展、技術進歩という歴史的経済的現象が何故起るかを解明した話題の書。  
四六判 296頁 1,400 (筑摩書房)

## フランスの哲学 全3巻

沢渡久敏編  
フランス哲学研究の成果を結集 ①理性は死んだか、②生命を探る、③現代を生きる。全3巻完結。  
A 5判 各250頁 各1,500 (東京大学出版会)

UP選書152

## ニヒリズム

渡辺二郎著  
ニヒリズムの問題現象を「内面性の現象学」として確立する意欲的な書き下ろし。  
四六判 270頁 900 (東京大学出版会)

## 行政と平均的市民

足立忠夫著  
著者の構想する平均的市民の概念が政治の民主的変革のためにいかに大きな役割を果たすかを究明。  
A 5判 360頁 2,400 (日本評論社)

## 坂本龍馬

飛鳥井雅道著  
維新政権樹立直前に暗殺された龍馬。新資料を駆使して従来の諸説を打ち破り龍馬の行動を描き出す。  
四六判 290頁 920 (平凡社)

叢書ヌヴェラージュ

**科学論とマルクス主義** ジャック・モノー他著 宇波 彰訳  
認識論を自然・人文科学の多くの論文、対話を通じて具体的に考察し、現代的課題として確認する。  
四六判 288頁 1,800 (福村出版)

## 西欧政治思想史Ⅳ

自由主義と政治哲学の凋落 シェルドン・S.ウォーリン著 尾形典男 福田鏡一訳 半沢孝彦  
未だ本格的な政治思想史なき現在、ウォーリン教授による待望の書の翻訳をここに贈る。全5巻。  
四六判 176頁 1,400 (福村出版)

## マルクスとヘーゲル学派

大井 正著  
初期マルクスに多大な影響を与えたヘーゲル学派の本質を捉えるべく、様々な考察を行った力作。  
四六判 248頁 1,500 (福村出版)

フォイエルバッハ全集第6巻

**近世哲学史(下)** 船山信一訳  
上巻に引き続き、デカルト、ゲーリングス、マルブランシュ、スピノザについて考察を行う。  
A 5判 320頁 4,000 (福村出版)

フォイエルバッハ全集 第13巻

**神統記(上)** 船山信一訳  
本書は、フォイエルバッハの宗教研究の集大成であり、「キリスト教の本質」と並ぶ大作である。  
A 5判 424頁 4,000 (福村出版)

叢書・ウニベルシタス

## 芸術と文明

ケネス・クラーク著 河野 徹訳  
西欧文明の源泉と展開を偉大な芸術、哲学、科学技術等を創造してきた人間精神の営みから説く。  
四六判 カラー48頁・本文624頁 3,500 (法政大学出版局)

## 学問と党派性

ベンディックス・ロート著  
柳父園近訳  
マックス・ウェーバー論考——現在の直面した  
思想状況との関連からウェーバーの学問体系に  
肉薄。  
四六判 450頁 ¥3,000 (みすず書房)

## 美学と歴史

バーナード・ベレンソン著  
島本 融訳  
芸術作品において必須の要素は何か。古典古代  
から近代にいたる各民族の作品・作家を解明す  
る。  
四六判 320頁 ¥2,300 (みすず書房)

## 言語機能論

アンドレ・マルティネ著  
田中春美訳  
倉又浩一訳  
言語学一点ばりの言語学者と自負する著者が自  
らの言語論を十全に展開する刺激的な名著であ  
る。  
A 5判 180頁 ¥2,600 (みすず書房)

小林英夫著作集 7巻

## 文体論の建設

文体論の建設、文体論的美学的基礎づけの二篇  
を収め、文体をあつかう科学の特性・原理を述  
べる。  
四六判 340頁 ¥2,500 (みすず書房)

## 理論と実践

J.ハーバーマース著  
細谷貞雄訳  
ハーバーマースの主張である本書は、フランクフ  
ルト学派の思想を把える好箇な研究対象でもあ  
る。  
B 6判 624頁 ¥2,000 (未来社)

有斐閣選書

## 経済思想の事典

住谷一彦編  
伊東光晴編  
二百年に及ぶ経済思想の流れを展望すると共に  
重要な項目を体系的に整理して簡潔に解説した  
事典。  
四六判 452頁 ¥1,300 (有斐閣)

## ヘーゲル

カウフマン著  
折原敏房訳  
斎藤博達訳  
新しい資料のもとに人間ヘーゲルの時代・思想  
を検証し、これまでのヘーゲル解釈の更新を迫  
る。  
四六判 336頁 ¥2,000 (理想社)

## 想像力と解釈学

ディルタイ著  
由良哲次訳  
「文学的想像力と幻想と解釈学とその課題」を  
収め訳者による懇切平明な補説を加えた増補で  
ある。  
A 5判 184頁 ¥1,600 (理想社)

## 教育人間学入門

ゲルナー著  
岡本英明訳  
本書は新しい教育人間学の種々な理論構想を分  
析しその方法的構想を解明している新しい人間  
学。  
A 5判 212頁 ¥1,900 (理想社)

## 宗 教

### 一枚法語——大行院語録

千鴻龍祥編  
野中恵契編  
大行院の語録と、研練・創造に終始した生涯を  
描いた小伝で真宗の教義の真髄を示唆する。  
菊判 624頁 ¥7,500 (春秋社)

### 仏教における法の研究

平川彰博士  
還暦記念会編  
東大で仏教学を講じた平川博士の選題を記念し  
て編まれた仏教の法に関する総合研究。  
菊判 686頁 ¥8,000 (春秋社)

### むもん関講話

山田無文著  
現代禅僧の第一人者、山田無文老師が、禅書中  
の白眉『無門関』全四十八則を講じたもの。  
四六判 384頁 ¥2,000 (春秋社)

### 禅の修証義

佐藤泰舜著  
道元禅師の仏道による安心のみちゆきを『修証  
義』に求めて、これを懇切に解明した不朽の遺  
著。  
A 5判 470頁 ¥4,800 (誠信書房)

### ユダヤ思想 の発展と系譜

イジドー・エプスタイン著  
安積誠一訳  
小泉 仰訳  
四千年にわたる歴史を背景に、ユダヤ思想の発  
展を跡づけたユダヤ教理解のための優れた概説  
書。  
A 5判 368頁 ¥2,800 (紀伊國屋書店)

### 新訂版 ミロク信仰の研究

宮田 登著  
5年前に新進学徒の画期的研究として注目をあ  
びた本書の完全な改訂。資料的・方法的にも深  
化。  
A 5判 400頁 ¥3,000 (未来社)

講座仏教思想 第7巻

### 文学論・芸術論

中村 元監修  
長尾雅人  
三夜充恵編  
絶対の寂智を説く仏教。その仏教を源泉とする  
絢爛深秘悠遠なる文学芸術を日本の権威が解明  
した注目の書。  
A 5判 354頁 ¥2,500 (理想社)

# 心 理

**破壊——人間性の解剖(上)** エーリッヒ・フロム著  
作田啓一訳  
佐野哲郎訳  
人間に特有な、破壊性、残酷性を伴う攻撃の諸形態を、ローレンツやスキナーの批判を通して考察。  
四六判 472頁 円1,400 (紀伊國屋書店)

感情心理学3巻(全6巻)  
**情動と行動恐怖と不安** 今田 寛著  
本書は、動物、ヒトを対象にした実験的研究を豊富に引用しながら、学習理論の立場から解説。  
A 5判 220頁 円3,800 (誠信書房)

翻訳シリーズ  
**青年期の精神分析I** S. ローランド他著  
青年病理研究会訳  
自慰、自殺、非行、初潮、心身症など十代の青年が直面する危機について、臨床例から分析説明。  
B 6判 280頁 円2,300 (誠信書房)

**数心理理学** J. G. グリーン著  
岡本榮一他訳  
知覚・学習・社会の諸問題に具体的適用を示し一方法論の上に立って人間を理解しようとする。  
A 5判 320頁 円4,000 (誠信書房)

催眠シンポジウム(6)  
**行動療法** 成瀬悟策編  
最近の行動療法について、わが国の専門家たちが最も新しい理論と方法を展開し実践的に論ずる。  
A 5判 230頁 円3,000 (誠信書房)

**脱感作療法** 異常行動研究会編  
ウォルピの提唱する系統的脱感作を中心とした逆制止療法を実践に基づいて多くの示唆を与える。  
A 5判 294頁 円3,800 (誠信書房)

環境心理学6巻(全6巻)  
**環境研究の方法** H. M. プロシュンスキー他著  
船津孝行訳編  
人間と環境の係わりあいをもっと包括的総合的な立場から新しい国際協力によって再創造を試みた。  
A 5判 160頁 円2,000 (誠信書房)

**ピアジェとレヴィストロース** H. ガードナー著  
波多野完治訳  
入江 良平訳  
構造主義的アプローチをとる本書は、人と学説に焦点をあて、社会科学と精神の本質を探究する。  
A 5判 260頁 円2,000 (誠信書房)

誠信ピアジェ選書(1)  
**発生的心理学** J. ピアジェ著  
芳賀 純訳  
ピアジェ学派による歴大な研究へのすぐれたピアジェによるピアジェ心理学への格好の入門書。  
B 6判 200頁 円1,350 (誠信書房)

誠信ピアジェ選書(3)  
**ピアジェとの対話** R. I. エウэнズ著  
宇津木保訳  
著者は対話をとおして、人間ピアジェの人格とその思想にふれながら語り、読者へ理解を深めた。  
B 6判 260頁 円1,700 (誠信書房)

**BASIC 入門** 田中良久著  
プログラミングの基礎を段階を追って解説し、行動科学に関する具体例を示す。初心者向の入門書。  
B 5判 120頁 円1,200 (東京大学出版会)

心理学研究法 6巻  
**動物実験II** 八木 晃編  
動物の言語行動、異常行動、社会行動等の基本的実験法と、動物の具体的取扱ひ方、飼育法を詳述。  
A 5判 270頁 円1,800 (東京大学出版会)

心理学研究法 9巻  
**質問紙調査** 統 有恒編  
村上英治編  
質問一回答という方式の意味から始め、調査計画、実施、整理、検討にいたる方法的吟味を行なう。  
A 5判 290頁 円1,800 (東京大学出版会)

心理学研究法 13巻  
**実践研究** 統 有恒編  
高瀬常男編  
人間行動の法則定立への方向とは別に、なまの人間をめぐる問題への心理学のとりくみを紹介。  
A 5判 280頁 円1,800 (東京大学出版会)

心理学研究法 14巻  
**データ解析I** 東 洋編  
統計に関する特別な素養をもたない学生を対象とし、基本的なデータ解析の方法を具体例から解説。  
A 5判 280頁 円1,800 (東京大学出版会)

講座こころの科学 第1巻  
**こころの生理** 島藺安雄編  
宮本忠雄編  
心身両面に視点をあてながら、脳の機能の複雑さと不思議さを、新しい知見にもとづいて解説する。  
四六判 384頁 円1,600 (日本評論社)

講座こころの科学 第2巻

### こころの生態

こころはたえず環境に適応し、また離反する。反抗・不安・ストレスなどこころの生態を解明する。

四六判 360頁 ¥1,600 (日本評論社)

島蘭安雄編  
宮本忠雄

有斐閣叢書

### 教育心理学原論

課題／方法論／領域／理論／研究法の五部に分けて教育心理学の理論体系を丁寧に解説。

B 6判 256頁 ¥1,000 (有斐閣)

小口忠彦編  
辰野千寿

講座こころの科学 第3巻

### こころの病理

こころは正常と異常のはざまをはげしくゆれ動く。混沌の現代を生きる市民のための教養書である。

四六判 360頁 ¥1,600 (日本評論社)

島蘭安雄編  
宮本忠雄

青木現代叢書

### 戦後日本の科学者運動(上)

戦後30年にわたる日本の科学者運動の到達点と課題を究明する画期的な日本科学者運動通史。

四六判 230頁 ¥1,200 (青木書店)

大沼 正則  
藤井陽一郎著  
加藤 邦典

現代心理学選書 第1巻

### 乳幼児・学童の心理学

乳幼児・学童の心理を、まったく新しい構成で、総合的に描き出した画期的な心理学テキスト。

A 5判 244頁 ¥1,700 (福村出版)

宮川知彰編  
寺田 晃

### 天皇とマス・コミ

天皇に関するマス・コミの報道を通じ、戦後社会と天皇制について考察する。

四六判 230頁 ¥1,000 (青木書店)

松浦総三著

### 技術の誕生

道具や技術の単なる解説書にとどまらず技術と社会的文化的一現象との相互関係を考察する。

四六判 320頁 ¥1,500 (平凡社)

ヘンリー・ホッジズ著  
平田 寛訳

### 権威主義的国家

ナチズム台頭後、すばやくその本質を見抜いた表題作をはじめ、関係論文五つを収録した力作集。

四六判 224頁 予価1,400 (紀伊國屋書店)

M. ホルクハイマー著  
清水多吉編訳

### 少年ドミニクの場合

仏精神分析医ドルト女医が17歳の精神病少年に対して行った12回にわたる面接治療の克明な記録。

B 6判 320頁 ¥1,500 (平凡社)

フランソワーズ・ドルト著  
小比木啓吾他訳

### 日本のわらべ歌

一戸外遊戯歌篇一著者が永年かかって足で集めた伝承遊び歌集。「室内遊戯歌篇」の姉妹篇。

B 6判 340頁 予価1,800 (社会思想社)

尾原昭夫著

### 人間性の発達

一幼年期から老年期まで一誕生・入学・結婚・死等誰もが経験する心理的危機の解決を日常生活での問題として平易に説く。

四六判 364頁 ¥1,500 (法政大学出版局)

G. R. ロウ著  
西川好夫訳

社会福祉事業シリーズ14

### 医療ソーシャルワーク

この分野での長い経験と豊かな実践の中から、日本における医療ソーシャルワークを指導詳述した。

B 6判 288頁 ¥1,800 (誠信書房)

中島さつき著

### 自己と他者

サリヴァンの思考をつくといわれる著者の対人関係論であり、この主題はすべての著作に一貫する。

四六判 238頁 ¥1,400 (みすず書房)

R. D. レイン著  
笠原 嘉訳  
志貴春彦

### パーソンズの社会理論

パーソンズの社会理論を、中堅ならびに新進の研究者が包括的・体系的に解釈と検討を加えた書。

A 5判 332頁 ¥3,800 (誠信書房)

田野崎昭夫編著

有斐閣叢書

### 心理学6 社会心理

社会学的接近と心理学的接近を統合し新進な構成で社会心理学の理論体系を簡潔に解説した入門書。

B 6判 214頁 ¥800 (有斐閣)

辻 正三編  
中村陽吉

### 中国一生活の質

最高の中国通L・アレイの協力を得て、新中国の諸相を伝える。現代中国を知る貴重な資料。

四六判 372頁 ¥1,900 (筑摩書房)

W. バーチュエット著  
杉山市平訳

## 根の国を求めて—再生の原理

人類の原初にまで想像を回らせ、イザナミの世界=根の国に人類再生の原理を探る新鋭の評論。  
四六判 216頁 ¥1,200 (筑摩書房)

## 中国的思考の構造

**混ん**の海へ 山田慶児著  
中国の思考構造を探った興味深い論考。中国の工業化過程を分析した極構造理論を提唱する。  
四六判 336頁 ¥1,400 (筑摩書房)

## ヨーロッパの都市と生活

増田四郎著  
先駆的名著「都市」の著者が、多年の歴史研究・都市研究で培った目で見えるヨーロッパの見聞録。  
四六判 240頁 ¥950 (筑摩書房)

福武直著作集 1巻

## 社会学の現代的課題 社会科学と価値判断

いずれも著者の方法論の全貌を示し、前者は社会学の課題と方法を、後者はウェーバーを論ずる。  
A 5判 430頁 ¥3,500 (東京大学出版会)

福武直著作集 2巻

## 社会学 社会調査

前者は魅力ある社会学の概説書として定評をえ、後者は調査法の手引きとして研究者必読書である。  
A 5判 500頁 ¥3,500 (東京大学出版会)

家族 一政策と法—1巻

**総論** 福島正夫編  
家族の現実から出発し、家族政策と家族関係法の展開過程を分析。家族に関する政策と法を把握。  
A 5判 330頁 ¥2,400 (東京大学出版会)

現代教育社会学講座 1巻

**現代教育の診断** 大橋 薫 編  
山村 健 編  
戦後教育を日本社会の特質との関連でとらえ、とくに病的、側面を照射して問題の所在を追求。  
A 5判 280頁 ¥1,800 (東京大学出版会)

社会学講座 11巻

**知識社会学** 徳永 恂編  
イデオロギー、科学、ユートピアという三つの観点から、現代思想—意識構造を明らかにする。  
A 5判 270頁 ¥1,500 (東京大学出版会)

社会学講座 12巻

**社会意識論** 見田宗介編  
現代社会とその中に生きる現代人の意識構造を各社会層別に具体的に分析、社会学の人間学を追求。  
A 5判 270頁 ¥1,500 (東京大学出版会)

東京大学公開講座 21巻

**天災と人災**  
地震、台風、交通事故……、本書は天災と人災のさまざまな様相を多角的に検討した東大公開講座。  
B 6判 300頁 ¥1,200 (東京大学出版会)

## わがふるさとのインド

モヘンティ著  
小西正雄訳  
自然と人間と宗教とが織りなす複雑なインドの特殊性を日常のレベルから明らかにした初めての書。  
B 6判 360頁 ¥1,200 (平凡社)

## 大地に息づく中国

A. W. ガルストン著  
石田米子訳  
人民公社員の家庭に疫病りした米植物生理学者が、社会主義建設にいそむ中国人民の日常を伝えてくれる。  
B 6判 290頁 ¥1,200 (平凡社)

## 水上勉 日本紀行

水上 勉著  
犀利な眼と独自の筆致をもって「日本」と「日本人」を描き切った、はじめて成る著者自選の紀行文。  
四六判 452頁 ¥1,200 (平凡社)

## マーガレット・ミード自伝

M. ミード著  
和智綾子訳  
アメリカの女性文化人類学者が自ら属する世代とアメリカ文化の本質を探ろうとする意欲的な試み。  
B 6判 300頁 ¥1,200 (平凡社)

## 自由人の立場

谷川徹三著  
自由人としての立場を貫く著者23の編の作品に流れる平和への情熱と文明への批評は聴くべきものがある。  
四六判 320頁 ¥1,300 (平凡社)

全3巻

**ドキュメント昭和世相史** 中島健蔵監修  
昭和初年から日中戦争、太平洋戦争、敗戦、占領という多難な半世紀に私どもはどのように暮してきたか。  
四六判 各320頁 各1,000 (平凡社)

教育選書

### 教育の現象学

田浦武雄編著  
人間性回復から生まれた未開拓の教育の現象学  
的研究をまとめ、教育の望ましい在り方を追  
求する。  
四六判 212頁 円1,400 (福村出版)

### 菅江真澄全集第5巻

内田武志編  
宮本常一編  
地誌篇一として「高松日記」「駒形日記」「雪の  
出羽路雄勝郡」および図絵集「勝地臨毫」を収  
録する。  
A 5判 488頁 円5,000 (未来社)

教育選書

### 教授=学習論と教科の指導

秋元照夫著  
堀山正弘編  
教科指導を、教授=学習の両側面から捉えるこ  
とにより、教科指導の在り方を鋭く追求する。  
四六判 320頁 円2,000 (福村出版)

### 伊豆諸島

蒲生正男  
坪井洋文共著  
村武精一編  
民俗学と社会人類学の共同研究による伊豆諸島  
の社会構造と民俗文化に関する総合実態調査報  
告。  
A 5判 400頁 円4,800 (未来社)

教育選書

### 新左翼の教育学

ポルフガング・プレツィンカ著  
小笠原道雄訳  
田代尚弘訳  
『新左翼の教育学』の起りから、その目的、  
方法を解説しながら、その本質を鋭く見つけ  
る。  
四六判 132頁 円1,000 (福村出版)

### 大間知篤三著作集 第2巻

#### 婚姻の民俗

竹田 且編  
この巻には著者の民俗学の二大根幹の一つをな  
す婚姻習俗が集大成する。関係研究者の必読文  
献。  
A 5判 562頁 円5,000 (未来社)

幼児学叢書 第1巻

### 乳幼児研究法

祐宗省三編  
井上 厚編  
乳幼児の行動の諸側面についての科学的研究の  
すすめかた、方法と資料分析のための統計法。  
A 5判 208頁 円1,500 (福村出版)

### 宮本常一著作集 第20巻

#### 海の民

日本をとりまく海を生活の場とする海洋民の生  
活を、海人や漁法の変遷・村落等と併せ考究す  
る。  
B 6判 330頁 円1,800 (未来社)

幼児学叢書 第6巻

### 保育原理

森 楳編  
発展の可能性を背後に秘めた乳幼児の保育を、  
家族、遊び、社会、制度の諸側面から詳述。  
A 5判 192頁 円1,500 (福村出版)

有斐閣選書

### 日本の環境問題

宮本憲一著  
「その政治経済学的考察」 転換期を迎えた環  
境問題に対して鋭い分析と提言を行なった入門  
書。  
四六判 312頁 円1,000 (有斐閣)

幼児学叢書 第7巻

### 保育内容

祐宗省三編  
利島 保編  
乳幼児の保育内容を、構成・過程の実際と、健  
康、自然、社会等の6領域の具体例をあけて詳  
述。  
A 5判 200頁 円1,500 (福村出版)

## 評 論

日本社会運動史料・機関紙誌篇

### 無産者新聞 (1)

法政大学大原社会  
問題研究所編  
戦前日本最初・最大の全国的政治新聞。本巻は  
大正14・15両年の1~62号を収録する。全4  
巻。  
B 4判 272頁 円11,000 (法政大学出版局)

### シュールレアリスム宣言集

A. プルトン著  
森本和夫訳  
今世紀の芸術と思想の生成に決定的な意味をも  
ち続ける、弁証法的な論理に貫かれた現代の古  
典。  
四六判 234頁 円1,600 (現代思潮社)

日本の民話58

### 加賀・能登の民話 第2集

清酒時男編  
南加賀、北加賀、口能登、奥能登の四地域に分  
けて現地の民話を地域の「語り」を生かして収  
録。  
A 5判 280頁 円950 (未来社)

### ゾラとフランスレアリスム

河内 清著  
19世紀仏蘭西レアリスムの伝統の中で、どのよ  
うにして自然主義文学の思想や様式を形成した  
か。  
A 5判 250頁 円2,600 (東京大学出版会)

**漱石とアーサー王伝説** 江藤 淳著  
アーサー王伝説に素材を仰いだ漱石『蓮霧行』をロマン主義の東漸という文脈のなかで捉える。  
A5判 350頁 ¥3,500 (東京大学出版会)

**地球の家を保つには** G. スナイダー著  
片桐ユズル訳  
一エコロジーと精神革命—地球全体を視野に入れた既成社会秩序のやりくりを考えた評論集。  
四六判 256頁 予価¥1,000 (社会思想社)

ヴァルター・ベンヤミン著作集 6巻  
**ボードレール** ヴァルター・ベンヤミン著  
川村二郎・野村 修 著  
新編増補 (編集解説)  
19世紀の首都パリの喧噪のなかで苦悶の「芸術の生」を送った天才詩人の像を鮮やかに刻む芸術批評。  
四六判 298頁 ¥1,500 (晶文社)

**まるで転がる石みたいだった** 田川 律著  
歌ごえ運動から、フォークへ、そしてロックへ—この20年間の音楽の歩みを証す音楽エッセイ集。  
四六判 338頁 ¥1,600 (晶文社)

**子供の場所** 草森紳一著  
都市に住む子供たちの生活空間をくまなく歩きまわり、遊びとはなにかを考える異色のエッセイ。  
四六判 298頁 ¥1,300 (晶文社)

日本文学史研究  
**山之口 獺** 仲程昌徳著  
一詩とその軌跡—  
放浪と貧窮の生活の中で、また故郷沖繩への屈指した思いをこめて歌われた獺の詩の本質を衝く。  
四六判 332頁 ¥1,800 (法政大学出版局)

青木正見全集 10巻  
**芥子園画伝 (訳)** 青木正見著  
南画を学ぶ人の手本とされた『芥子園画伝』を流麗な現代語に移した博士生前の未刊書。  
菊判 440頁 ¥5,000 (春秋社)

岩本素白全集 3巻  
**国文学の写実精神** 岩本素白著  
著者唯一の国文学研究書『日本文学の写実精神』を軸に、国文学論叢および歌集を収録。  
四六判 408頁 予価¥2,000 (春秋社)

**読書の学** 吉川幸次郎著  
論語、史記、徂徠、契沖等の文章を豊富に引用して、その世界をわかりやすく説いた必読の文獻。  
四六判 298頁 予価¥1,700 (筑摩書房)

**文明感想集** 桑原武夫著  
この二・三年間に新聞、雑誌に発表した人物論、旅行記など文明的視点である評論を編集収録。  
四六判 160頁 予価¥800 (筑摩書房)

筑摩書房 221巻  
**アヴァンギャルド芸術** 花田清輝著  
日本の芸術・思想を支えている自然主義的・形式論的精神と一貫して闘ってきた評論集。  
四六判 290頁 予価¥1,000 (筑摩書房)

筑摩書房 222巻  
**レオナルド・ダ・ヴィンチ論** ポール・ヴァレリー著  
菅野昭正他訳  
ヴァレリーのエッセイを代表するものであり、同時に、レオナルドに関心を抱く読者の必読書。  
四六判 230頁 予価¥900 (筑摩書房)

**風花帖** 沢柳大五郎著  
東西の文化を論じ、敬愛する鷗外、幸太郎らの真面目に迫り、また仮名遣の問題を説く評論集。  
四六判 315頁 予価¥2,000 (みすず書房)

**地図つれづれ草** 金関義則著  
環境破壊、利水行政の非、国土改造政策の当否など焦眉の問題が地図をめぐる考察をこうじて論ず。  
A5判 240頁 予価¥2,400 (みすず書房)

**女性解放とは何か** 松井やより著  
〔女たちの団結は力強く、国境を越える〕鋭い批評精神で日本社会の差別構造を批判する評論集。  
B6判 270頁 予価¥1,200 (未来社)

**明日の太陽** ヘレン・ジョセフ著  
片平久子訳  
〔南アフリカの人種差別についての証言〕人間の基本的権利を求めて闘う白人女性の感動的記録。  
B6判 320頁 予価¥1,500 (未来社)

## 魯迅美術論集 上巻

魯迅は木刻運動を提唱し自らその指導に当た  
るが、魯迅の美術に関する未邦訳の諸論考を収め  
る。

A 5判 202頁 円1,800 (未来社)

有斐閣選書

## 近代日本文学における中国像

明治以降、昭和30年頃までの文学作品から中国  
と中国人を扱ったものを精選・抄録した解釈・  
分析。

四六判 300頁 円1,000 (有斐閣)

## 人類の将来

哲学・政治・人類・社会・原子力時代・教師論  
等について語る反語と諷刺にみちた異色の評論  
集。

B 6判 286頁 円1,700 (理想社)

## 中国の問題

本書は1922年に出版され半世紀を経た今日でも  
すぐれた労作として、今なお不朽の価値をもつ  
書。

B 6判 365頁 円2,000 (理想社)

# 歴 史

堀江英一著作集1巻

## 明治維新の社会構造

市民革命の研究を通じ、戦後歴史学研究の上で  
大きな業績をのこした著者の全業績の集大成。  
四六判 300頁 円2,500 (青木書店)

歴史学研究別冊

## 歴史における民族の形成

1975年度歴史学研究会における大会報告。  
B 5判 212頁 円1,300 (青木書店)

## 日本帝国主義史論

ファシズムと戦争への画期となった満州事変前  
後の日本帝国主義の歴史を具体的に究明する。  
四六判 328頁 円1,800 (青木書店)

## ヨーロッパ人への 手紙

西欧諸国が共通の文化的遺産を継承しているこ  
とを強調し、新しい連邦主義による統合を提起  
する。

四六判 224頁 円1,900 (紀伊國屋書店)

全3巻

## ロシア史I

簡潔なロシア史概観でスターリン批判後復活し  
た古典的な書。I巻はアレクサンドルIIの暗殺  
まで。

四六判 288頁 円1,500 (勁草書房)

## アダム・スミス

マルクス・レーニン主義の立場から経済科学の  
始祖A・スミスの生涯と業績を内在的に解明す  
る。

四六判 300頁 円1,600 (勁草書房)

勝海舟全集 第8巻

## 吹塵録III

海舟の編纂による経済史料集。貨幣に関する法  
令および蘭書から翻訳した世界貨幣一覧を取  
録。

四六判 480頁 円2,200 (勁草書房)

## 続高見順日記 第三巻

ガン手術のため、千葉大に入院した昭和38年10  
月5日より39年6月30日までの9カ月間を取  
録。

四六判 352頁 円2,600 (勁草書房)

## 続高見順日記 第四巻

ガン転移による再手術、再々手術の闘病手記。  
昭和39年7月1日より12月31日までの時期を取  
録。

四六判 350頁 円2,600 (勁草書房)

## 論集 将門研究

関東一円を席卷して自ら新皇を名乗った平将門  
の行動の歴史的意義を明らかにする代表的論文  
集。

A 5判 320頁 円3,500 (現代思潮社)

日本古代文化の探究

## 風土記

「風土記」の成立と重要性を説き、常陸国・播  
磨国・出雲国・肥前国・豊後国各「風土記」を  
解明する。

四六判 314頁 円1,200 (社会思想社)

現代叢書文庫 867巻

## トインビー

一人と思想一鈴木成高、山本新、貝塚茂樹、和  
歌森太郎らの解説により、トインビーの史観を  
明す。

A 6判 304頁 円360 (社会思想社)

## 訓練に立つ文明

既存の西欧中心の歴史観に批判を加え、歴史を全世界的な相互関係のある体系として論ずる。  
四六判 396頁 予価¥1,400 (社会思想社)

A. トインビー著  
深瀬基寛訳

## 爆発する都市

現在の世界的な「都市爆発」をこれまでの都市の歴史に照らして検討、未来の世界都市へ提言する。  
四六判 352頁 予価¥1,200 (社会思想社)

A. トインビー著  
長谷川松治訳

人間解放のめぐり 4巻

## チェ・ゲバラ

ゲバラという英雄の伝説的生涯の中から、その真の姿を浮き彫りにしその闘争の意味を探る。  
四六判 216頁 予価¥1,300 (福村出版)

P. ガヴィ著  
山方達雄訳

## もとの人間の文化史 松

祭祀、芸能、美術に特異な象徴的位置を占める松の伝承と、民衆生活におけるその遺産を物語る。  
四六判 360頁 予価¥1,300 (法政大学出版局)

高嶋雄三郎著

叢書・歴史学研究

## 京都「町」の研究

平安京から近世京都に至る個別町の変貌の具体像を描き、都市史研究の実証的方法を確立した労作。  
A5判 400頁 予価¥3,800 (法政大学出版局)

秋山国三著  
仲村 研著

## 沖繩文化研究 2

小川徹、中沢新一、東喜望、比嘉実、池宮正治、岡本恵徳、山田実。祭祀・詩歌・芸能等を論考。  
四六判 268頁 予価¥1,800 (法政大学出版局)

法政大学沖繩  
文化研究所編

現代史資料 41巻

## マス・メディア統制(2)

大東亜戦争の敗戦まで、新聞・雑誌・映画・演劇などに対する統制の実態の第一次資料を取録す。  
A5判 640頁 予価¥7,000 (みすず書房)

内川芳美解説

## ヨーロッパ100年史(2)

社会・経済・文化・政治の多面にわたって、劇的かつ急激な変化に満たされた時代を詳述する。  
A5判 330頁 予価¥2,500 (みすず書房)

J. ジョル著  
池田 清訳

## 封建社会(2)

封建制度の起原と構造、諸階層の生活を生々と描き、一時代の解剖図をなす。偉大な歴史家の主著。  
A5判 300頁 予価¥2,800 (みすず書房)

マルク・ブロック著  
新村 猛ほか訳

## 日本ファシズム研究序説

ファシズム期における日本国家の性格を分析カテゴリーの厳密な科学的検討により歴史的に解明。  
A5判 420頁 予価¥3,800 (未来社)

安部純純著

Vol. 1

## THE KOREAN REVOLUTION MUSEUM

朝鮮革命博物館  
写真編集委員会編  
朝鮮民主主義人民共和国の革命と建設の歴史を集大成した朝鮮革命博物館の全体像 [英文全2巻]。  
A4判 256頁 予価¥7,500 (未来社)

朝鮮革命博物館  
写真編集委員会編

## わわしいおんな

「狂言・御伽草子にみる女性像」中世の大衆的な芸能・文芸作品を通して活力溢れた女性像を追求。  
B6判 300頁 予価¥1,200 (未来社)

もろさわよこ著

## 金日成著作集第6巻

第6巻には共和国の対内外政策、社会主義制度の強化、農業生産の高揚、祖国統一問題の論文収録。  
A5判 342頁 予価¥1,500 (未来社)

「金日成著作集」  
翻訳委員会訳

社会科学ゼミナール 59巻

## ドイツ中世都市の成立と ツunft闘争

「シュトラスブルクの繁栄と13世紀国民経済革命」ほか1本の論文から成り、中世史家待望の初訳。  
B6判 208頁 予価¥850 (未来社)

G. シュモラー著  
瀬原義生訳

有斐閣選書

## 日本史を学ぶ(4 近代)

明治維新期から民権運動、日清・日露戦争をへて大正デモクラシー、独占資本主義確立期迄を扱う。  
四六判 336頁 予価¥1,100 (有斐閣)

吉田 晶・永原慶二  
佐々木潤之介編  
大江志乃夫・藤井松一

有斐閣選書

## 日本史を学ぶ(2 中世)

日本史のなかでも最も研究のすすめていく中世史の重要テーマを選び最近までの研究成果を整理。  
四六判 326頁 予価¥1,000 (有斐閣)

吉田 晶・永原慶二  
佐々木潤之介編  
大江志乃夫・藤井松一

## 藩制成立期の研究

金井 圓著

戦後の幕藩体制史研究に開拓者の役割を果たした著者の郷村・俸禄制度の具体相を究明した力作である。

A 5判 550頁 ¥7,500 (吉川弘文館)

日本宗教史研究叢書

## 女人往生思想の系譜

笠原一男著

30年にあまる日本仏教史研究の著者の業績をふまえて、はじめてなした画期的な野心作。

A 5判 450頁 ¥4,300 (吉川弘文館)

## 大神神社史 (全1巻)

大神神社史料  
編修委員会 編

全18章、関係年表、附図より成り、考古学的考察より始まり各部門を詳細に叙述する。

菊判 750頁 ¥8,000 (吉川弘文館)

## 新訂幕藩体制史の研究

藤野 保著

近世史研究に新紀元を画した名著。最近十余年間の諸学説の検討批判のうえに今回改訂・増補する。

A 5判 980頁 ¥8,800 (吉川弘文館)

## 榎原考古学研究所論集

榎原考古学  
研究所 編

榎原考古学研究所の創立35周年を記念して関係する専門学者38氏が実証と考察を深めた珠玉の論文集。

A 5判 950頁 ¥9,800 (吉川弘文館)

日本宗教史研究叢書

## 古代寺院の成立と展開

鶴岡静夫著

人間活動のあらゆる分野を総合的に含む歴史の立場から、古代寺院をめぐる諸問題を考えた力作。

A 5判 350頁 ¥3,800 (吉川弘文館)

## 守護領国体制の研究

畑井 弘著

六角氏領国に見る畿内近国の発展の特質、在地領主制的・農奴制的支配の限界を提示した力作である。

A 5判 560頁 ¥6,000 (吉川弘文館)

## 古代史への道

古代文献や邪馬台国・古代国家の論点の紹介など古代史に鋭いメスを入れた気鋭のエッセイ集である。

四六判 280頁 ¥1,300 (吉川弘文館)

## 東海道箱根宿閩所史料集

箱根閩所研究会編

最も高名な箱根閩所の基本史料。本巻には江戸時代の元箱根住民の日常生活・御用留等を収録。

A 5判 442頁 ¥5,000 (吉川弘文館)

庄園史料叢書

## 肥前国神崎荘史料

瀬野精一郎編

神崎荘における顕著な条理制の残存は複雑な支配関係の究明のための豊富な史料を提供する。

A 5判 266頁 ¥3,500 (吉川弘文館)

## 古代史研究の世界

井上光貞著

中国・朝鮮など東アジア世界の中で古代の日本を考える幅広い井上史学の真髓を提示した待望の書。

四六判 324頁 ¥1,300 (吉川弘文館)

## 中世祭祀組織の研究 (増補版)

萩原竜夫著  
大小の神社や堂庵を中心とする祭祀組織の展開を、社会・文化の発展の線に沿って考察した好書。

A 5判 842頁 ¥8,000 (吉川弘文館)

## 近世農村の数的研究

佐久高士著

確実な資料をもとに近世の農村を人口や家族構成にとどまらず、村落社会の全分野にわたって論究。

A 5判 600頁 ¥9,500 (吉川弘文館)

## 江戸商業と伊勢店

北島正元編著

本書は木綿問屋長谷川家の経営を中心としてのべ、その背景をなす江戸商業との相関関係をも重視。

A 5判 708頁 ¥5,500 (吉川弘文館)

## 古文書研究 第9号

日本古文書学会編

<主要目次> 論文・研究余滴・古文書めぐり・古文書解題・古文書講座・史料紹介・書評等を収載。

B 5判 150頁 ¥1,700 (吉川弘文館)

## 新訂日本考古学図鑑

斎藤 忠著

日本考古学の基本的業績を多数の写真によって紹介・解説した好書。この度大増訂し、面目一新する。

B 5判 420頁 特価¥6,000 (吉川弘文館)

## 新井白石の時代と世界

宮崎道生著

現代的視点から鎖国時代最大の国際人白石像を鮮明に描破 白石没後250年を記念する好著。

四六判 232頁 ¥1,000 (吉川弘文館)

社会思想社

A・トインビー最後の予言

# 爆発する都市

長谷川松治訳 世界的な都市爆発を、過去の都市の歴史に照らして検討、未来都市へ提言 四六判 / 二〇〇円

廉価版 試験に立つ文明

A・トインビー 深瀬基寛訳 四六判 / 一四〇〇円

トインビーへ人と思想

社会思想社編  
文庫 / 三六〇円

113 東京都文京区本郷1-25-21  
振替東京6-71812 電03(813)8101

春秋社

東京千代田区外神田2-18-6

# 岩本素白全集 全3巻

岩本素白は天成の随筆家であると同時に、国文学者としても、きわめて独創的な思想家であった。日本文学の伝統をつらぬくリアリズムを追求した主著を第3巻に加え、ここに全巻完結!

① 山居俗情 / 素白集 一五〇〇円

② 東海道品川宿 / 遺珠 一五〇〇円

③ 日本文学の写実精神 / 文芸論叢 / 歌集信濃詠草 二〇〇〇円

# 都市革命

アンリ・ルフェーヴル 今井成美訳 社会は都市化する。消費と決定の中枢である都市の諸問題を明らかにし、国家と企業の手にゆだねられたこの制度的空間を、使用者としての我々が奪回する可能性を探る名著。1300円

# 空間と政治

アンリ・ルフェーヴル 今井成美訳 現代社会において空間とは単なる広がりではない。それは、生産され、切り取られ、売買される。そこに空間の政治が存在する。都市の諸問題を多角的に考察する示唆にみちた論集。1200円

昌文社 東京都千代田区外神田2-1-12  
電話(255)4501

誠信書房

東京都文京区大塚3の20の6

# ピアジエとレヴィリストロース

● 社会科学と精神の探究

H・ガードナー / 波多野完治・入江良平訳

現代の社会科学、人文科学に新生面を開きつつある構造主義的アプローチをとる本書は、発達心理学・人類学における両学者の人と学説に焦点をあて、その由来、現状、さらに社会科学一般に対する意義を平易に解説した注目の書。【最新刊】  
A 5判上製 260頁 定価二〇〇〇円

## 東京大学出版会

# ●全体系・全分野の理論的総括 社会学講座 全18巻完結 各巻1,200円

- 1 理論社会学 青井和夫編
- 2 社会学理論 浜島 朗編
- 3 家族社会学 森岡清美編
- 4 農村社会学 蓮見音彦編
- 5 都市社会学 倉沢 進編
- 6 産業社会学 松島静雄編
- 7 政治社会学 綿貫銀治編
- 8 経済社会学 富永健一編
- 9 法社会学 潮見俊隆編
- 10 教育社会学 麻生 誠編
- 11 知識社会学 徳永 恂編
- 12 社会意識論 見田宗介編
- 13 現代社会論 辻村 明編
- 14 社会開発論 松原治郎編
- 15 社会福祉論 三浦文夫編
- 16 社会病理学 岩井弘毅編
- 17 数理社会学 安田三郎編
- 18 歴史と課題 福武 直編

113 東京文京東大内 振替59964 見本呈

## 混沌の海へ

山田慶児

中国的思考の構造 社会変動論をも包摂する『極構造理論』を提唱し、中国における伝統思想と現代思想の連関を究明する著者の論文集。1400円

## ヨーロッパの都市と生活

増田四郎

『都市』の著者が、多年の歴史研究で培った眼でヨーロッパ諸都市を实地に見、考えた記録。筑摩叢書 950円  
●筑摩叢書フェア全国書店で開催中

筑摩書房

東京神田小川町2

## 日本評論社

# 講座 ここからの科学

島蘭安雄・宮本忠雄編 へ全3巻

各巻 四六判・一六〇〇円

- 1. ここからの生理 発売中
- 2. ここからの生態 発売中
- 3. ここからの病理 近日刊

東京新宿須賀町/振替東京0=16番

小林秀雄 著

12月刊行の予定

# ドストエフスキイの生活

創造の魔神に憑かれた不世出の作家の生涯を解明するために、小林氏が全力を傾けてその異様な生涯と革命前夜の時代背景を、執拗かつ謙虚に追求した名著の復刊。

- 創元選書版 本文三〇四頁、写真二四頁 予価一、三〇〇円
- 豪華限定版 A5判本文三〇四頁、カラー一葉、写真三二頁 四八〇部限定(他に私家版)〇部 著者署名入り 予価一五、〇〇〇円

東京創元社

東京新宿新小川町

## 後 記

師走を迎え皆さまにはご多忙の毎日と拝察いたします。

不況に強いと自認していた出版業界にも急激な情勢の変化があらわれてきました。過日の北陸研修会における福音館・佐藤理事長の発言のように書籍の高定価が負担となり、数量的に店頭販売ののびをおさえ、公正取引委員会がその強制権限を発動して特定出版社の値上り状況の調査を行うにいたりました。又この上半期最高数値を記録した返品率は依然として好転せず、近来にない不調のうちに越年しようとしています。

これに対し、書協は出版開発をはかって或は近刊速報、又は総合目録の発行を考慮し、日書連も増売運動の一環としてラベル式新刊速報、読者配布の近刊情報等で難局打開につとめようとしています。

われわれはなにをもってこれに対処すべきか。人文会結成以来の懸案だった特約店制度も第二年目を迎え、更に積極的な対応が内外ともに要求されております。

この時期にあたり、きたる昭和51年度には特約店・取次店・人文会の三者が、より一層の協力をはかり人文図書の増売を指向いたしたいものです。

人文会代表幹事 中平千三郎

法政大学出版局

ケネス・クラーク

# 芸術と文明



をき哲お大説  
史のの偉れ名  
歴の術の為の著  
の善技の信作朽  
明の業、展でた  
文黒たし、C  
バ暗きと察発B  
ッとして学考のB  
ロ望れ斜て神B  
ヨ、出し通間英統  
生みそを人、連  
徹再生、業的す  
微とで想偉造か  
野破な学げなき  
N H K

本文400頁／口絵原色48頁単色227頁  
●叢書・ユニベルシタス● 3500円

東京都港区南麻布2-8振替東京95814

好評発売中

米大井 正著

四六判／¥1500

# マルクスとヘーゲル学派

十九世紀ドイツ思想史の要を占めるヘーゲル学派を、マルクス主義との連関においてとらえ、マルクス主義もヘーゲル学派の内紛と解体の汚濁のなかに産湯を浴びたものだ、その素性を明らかにする。

ジャック・モノー他著／宇波彰訳

¥1800

# 科学論とマルクス主義

認識論Ⅱ科学論がマルクス主義とどのようにかわりうるかという問題を設定して、それを多くの領域の論文・対話を通じて考察する。叢書ヌウェーラージュ

東京文京本郷4-23

福村出版

振替東京 9-78313

みすず書房

# 小林英夫著作集

全10巻／第1回配本 第7巻 二五〇〇円

# 文体論の建設

二〇世紀言語学への深い理解と日本語への新鮮な視角によって独自の領域を拓いた言語学者の半世紀にわたる業績を集成。本巻には、文体論に関する二編「文体論の建設」「文体論の美学的基礎づけ」を収める。文体とは何かを考察し、それを扱う科学の原理を叙述しつつ、文学作品にその具体的適用を試む。内容見本送呈 東京都文京区本郷三一七一五 みすず書房

おもしろさの哲学と哲学のおもしろさと……

# 面白さの哲学

福田定良

平凡社の選書 ● 860円 四六判・265頁

さの発見、面白さの自覚……著者と2人の外人が展開する面白さをめぐる哲学的考察。哲学の面白さを感じさせる。

東京麹町局区内・振替・東京29639

平凡社

読書の秋におくる、古代史への道標

# 古代史研究の

# 世界

邪馬台国の政治構造を探り、興味深く古代史の史料を解明

井上光貞著

四六判／定価一三〇〇円

# 古代史への道

佐伯有清著

四六判／定価一三〇〇円

113 東京都文京区本郷7丁目2番8号

吉川弘文館

# 魯迅 美術論集 上巻

張望編／小野田耕三郎訳

A5判・一八〇〇円

今日の中国木刻芸術の成長・開花は魯迅の育成・指導なくしてはありえなかつた。本書は、魯迅の美術にかんする文章や書簡を集大成する。口絵多数。

# 中国解放区木刻

鄒雅・李平凡編 小野田耕三郎訳・解説

一八〇〇円

魯迅 竹内好著 八五〇円

東京・文京小石川3の7 未来社 電話・代表 (814) 5521

学会の総力を結集した新しい仏教像の探究

# 講座 仏教思想

A5判上製

● 全7巻

中村元／長尾雅人 監修  
三枝充徳 編集

## 第七巻 文学論・芸術論

6回配本

〈内容〉インド・東南アジアのバリー仏教文学思想／死後の世界／禅文学／国文学と仏教思想／仏教の芸術論他三篇 2500円

## ヘーゲル

再発見・再評価

カウフマン著 四六 2000円

近年発見された資料をもとに、ヘーゲルの時代・足跡・思想を検証し、従来のヘーゲル解釈の更新を迫る労作 枋原敏房他訳 2500円

## 理想 (12月号) ドイツ哲学の現状

価 420円 200円

東京都新宿区赤城下町46 理想社 振替(東京) 78303

非売品

# 住谷一彦・伊東光晴編 経済思想の事典

一三〇〇円

経済思想二百年の歩みを通して

〈現代〉を考えるユニークな事典

《有斐閣選書》現代とは何か。これを考えるために一八世紀末から今日に至る世界史を経済思想を軸に描き出した新しい企画の書。

## 有斐閣

東京都千代田区神田神保町2 振替口座・東京6―370番

昭和50年12月1日発行 年4回発行 第10号

発行所 人文会 東京大学出版会内

〒 113 - 91 東京都文京区本郷7 3 1 私書箱89号

